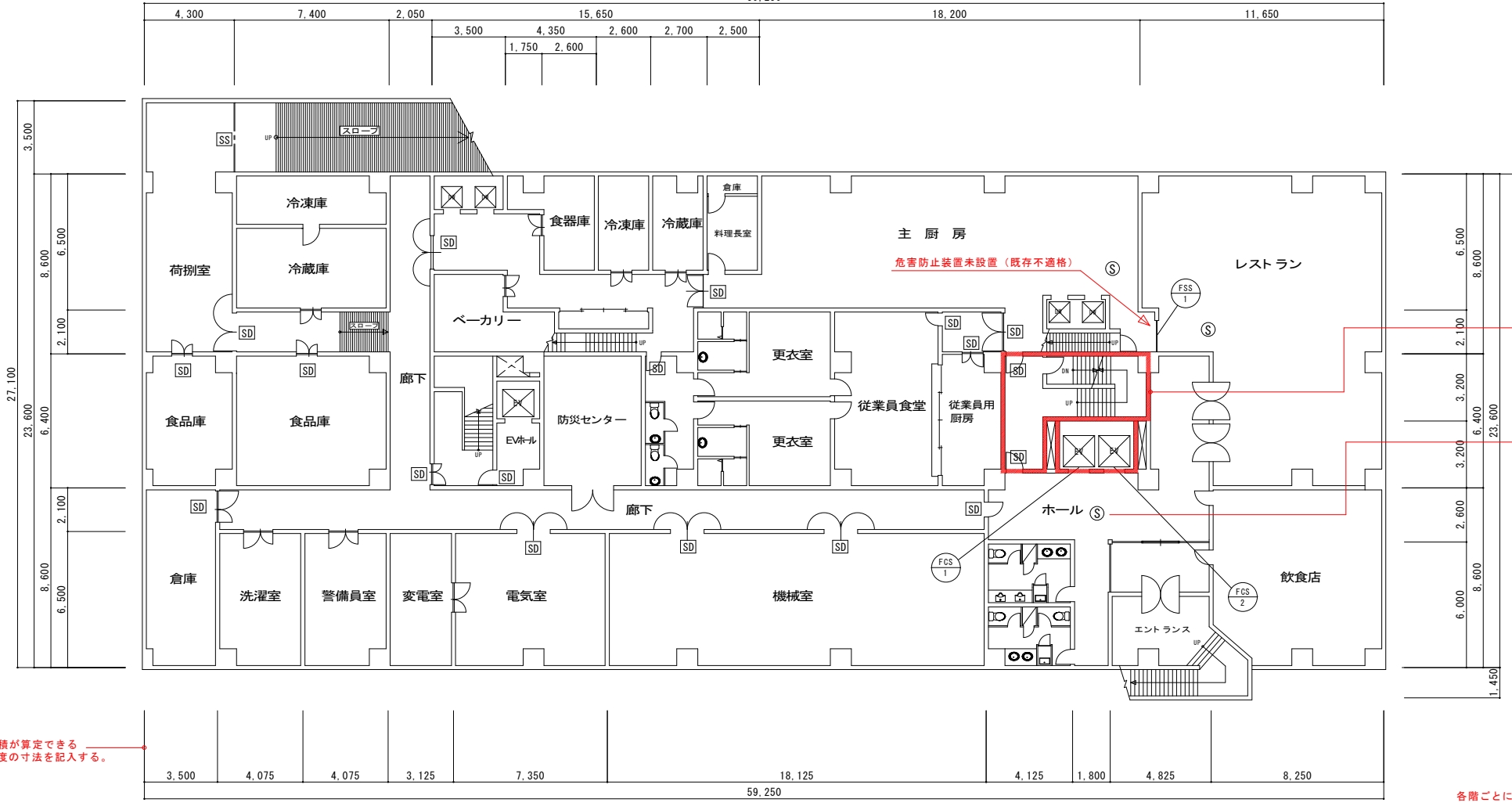


59.250



検査対象の防火設備が堅穴区画に設けられている場合は、その堅穴区画がわかるよう各階表記する。

感知器の位置を表記すると検査結果表の項目について、判断がしやすくなる。

面積が算定できる程度の寸法を記入する。

各階ごとに防火設備の枚数を表記する (報告書第二面の枚数と整合がわかるようにする)

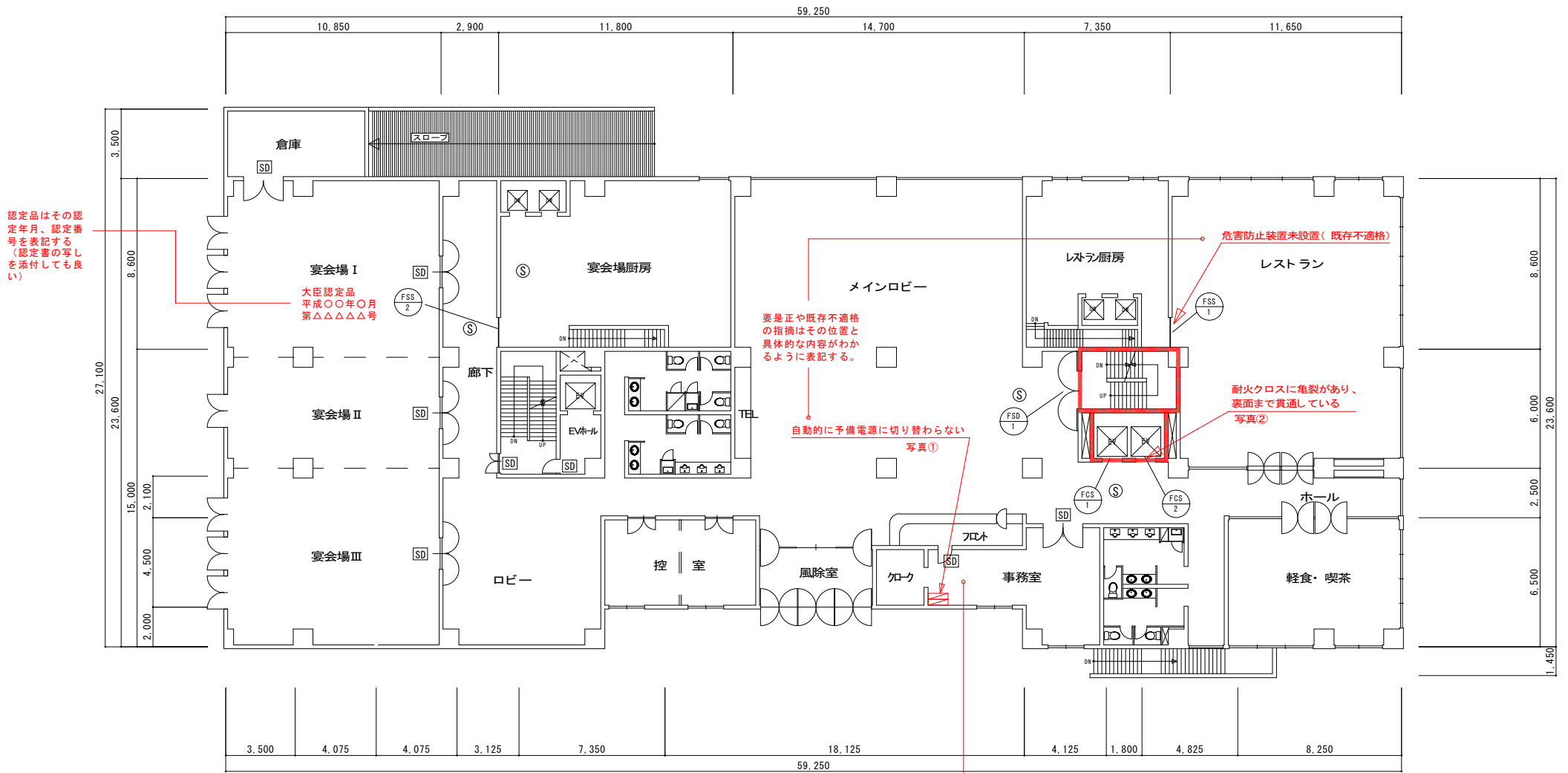
B1階平面図 1:100

※文字、数字が確認可能な図面を作成してください

凡例:

FSS	煙感知器連動防火シャッター	⊙	煙感知器
TSD	温度ヒューズ式防火扉	SS	危険防止用連動中継器
FCS	煙感知器連動耐火クロススクリーン	FSD	煙感知器連動防火扉
SD	耐火クロススクリーン	□	堅穴区画

防火設備の種類		枚数
煙感知器連動	防火扉	0
	防火シャッター	1
	耐火クロススクリーン	2



1階平面図 1:100

要是正とされた部分を撮影した写真の位置と写真番号を表記する。

※文字、数字が確認可能な図面を作成してください

防火設備の種類		枚数
煙感知器連動	防火扉	1
	防火シャッター	2
	耐火クロススクリーン	2